

台湾日本語文学会・輔仁大学外国語学部・日本語文学科  
**2015 年度台湾日本語文学国際学術研討会**  
 - 「日本語文学研究における「S字カーブ」への挑戦」 -  
 プログラム

日時：2015 年 12 月 19 日 場所：輔仁大学国壘樓 2 階国際会議ホール

08:30~08:50		受付			
08:50~09:00		<b>開会式</b> (国壘樓 2 階 MD227 国際会議ホール) 頼 振南 (輔仁大学外国語学部長) 塩澤雅代 (公益財団法人日本交流協会台北事務所文化室主任)			
09:00~10:00		<b>基調講演 1</b> (国壘樓 2 階 MD227 国際会議ホール) 司 会：黄 瓊慧 (輔仁大学日本語文学科主任) 講 師：菊地康人 (日本東京大学教授) トピック：文法研究と日本語教育を行き来する - 上級者にも身につけていない初級項目を題材に -			
10:00~10:10		ティー・ブレイク			
10:10~11:10		<b>基調講演 2</b> (国壘樓 2 階 MD227 国際会議ホール) 司 会：曾 秋桂 (淡江大学教授) 講 師：沼野充義 (日本東京大学教授) トピック：ハルキ VS カラマーゾフ - 現代日本文学における「偉大なるロシア文学」の影 -			
11:10~11:40		台湾日本語文学会 会員大会		ポスター発表	
11:40~13:00		昼 食		11:30~12:30	
13:00~14:00		<b>基調講演 3</b> (国壘樓 2 階 MD227 国際会議ホール) 司 会：頼 振南 (輔仁大学外国語学部長) 講 師：李 暎洙 (韓国日本語学会前会長) トピック：2009 改訂教育課程による意思疎通機能表現			
14:00~14:05		各セッション移動			
14:05   15:25	14:05   14:10	第一セッション 国壘樓 MD212 教室 座長：邱 若山 (静宜大学副教授)	第二セッション 国壘樓 MD213 教室 座長：黄 英哲 (臺中科技大学 応用日本語系主任)	第三セッション 国壘樓 MD214 教室 座長：頼 錦雀 (東吳大学教授)	第四セッション 国壘樓 MD215 教室 座長：小針浩樹 (輔仁大学助理教授)
	14:10   14:30	発表者：廖 秀娟 (元智大学副教授)  テーマ： 小川未明作品にみる理想的な<少国民>像-戦時中童話を中心に-	発表者：羅 曉勤 (銘伝大学副教授)  テーマ： 日本語中上級作文授業における意見文作成指導に関する試み	発表者：奥村訓代 (高知大学教授)  テーマ： 「やさしい日本語」から「共生日本語」に向けて	発表者：王 玉玲 (開南大学副教授)  テーマ： 「-に越したことはない」の意味・用法について
	14:30   14:50	発表者：伊月知子 (日本愛媛大学准教授)  テーマ： 「満洲国」期の日本語教育関係者の思想的変遷-公学堂の校長から文教部編審官となった福井優について	発表者：中村香苗 (淡江大学助理教授)  テーマ： 気付きを促すグループ討論訓練-討論観察活動の成果と課題-	発表者：黄 永熙 (漢陽サイバー大学教授)  テーマ： 植民地日本語からみる無声破裂音の保持メカニズム-中国延辺地域の朝鮮族高年層を対象に-	発表者：古賀悠太郎 (神戸女学院大学 非常勤講師)  テーマ： 日本語の三種の受動文とその周辺の視点の体系について

14:50   15:10	発表者：林 姿瑩 (大阪大学大学院 文学研究科博士後期課程)  テーマ： 大岡昇平の初期創作活動 における戦記物の意味- 『サンホセの聖母』を中 心に-	発表者：工藤節子 (東海大学助理教授)  テーマ： プロジェクト型交流にお いて学生が認識する自己 成長	発表者：神作晋一 (南台科技大学助理教授)  テーマ： 丁寧体否定形式「～ませ ん」と「～ないです」の 動向-トークバラエティ 番組「アメトーーク」を 例として-	発表者：高井岩生 (九州大学研究員)  テーマ： 3 項動詞の受身化可能性
15:10   15:25	質疑応答	質疑応答	質疑応答	質疑応答

15:25~15:35	ティー・ブレイク /ポスター発表
-------------	------------------

	15:35   15:40	第五セッション	第六セッション	第七セッション	第八セッション
		国壘樓 MD212 教室	国壘樓 MD213 教室	国壘樓 MD214 教室	国壘樓 MD215 教室
		座長：齋藤正志 (中国語文化大学副教授)	座長：楊 錦昌 (輔仁大学副教授)	座長：山内信幸 (同志社大学教授)	座長：蘇 文郎 (政治大学教授)
15:35   16:00	15:40   16:00	発表者：戸田一康 (真理大学副教授)  テーマ： 宇野浩二の「甘き世の話」 -小説技術の観点から-	発表者：藤岡克則 (国立大学法人 愛媛大学教授)  テーマ： 米国の工学教育における 日本文化再評価の動向を めぐって-人文・社会科学 の再生に向けて-	発表者：江 秀姿 (銘伝大学助理教授)  テーマ： 日本語専攻大学生のイン ターンシップの実態調査	発表者：東寺祐亮 張 晨迪 (九州大学博士前期課程)  テーマ： 結果事象を用いた度合い の理解-日本語のホドと 中国語の得 ( de ) を通し て-
15:35   16:30	16:00   16:20	発表者：佐藤敬子 (元・横浜市立大学 看護短期大学講師)  テーマ： 『社仁成』母なる風と父な る時化』論 -レイジの殺 人理由あるいはセキジと の鏡像関係-	発表者：ニール・ ヘファナン (久留米大学准教授)  テーマ： 留学における目標言語 の学習と文化的適応に ついて-日本の大学に留 学中の 8 名の台湾と中 国の学生の視点-	発表者：廖 紋淑 (中華大学助理教授)  テーマ： 日本語観光ガイド・添乗 員人材育成-業界特任講 師との共同指導の効果-	発表者：王 敏慈 (千葉大学人文社社会 研究科博士課程)  テーマ： 「-といい」「-ばいい」「 -たらいい」-「望ましい事 態」の仕組みから-
	16:20   16:30	質疑応答	質疑応答	質疑応答	質疑応答

16:30~16:40	ティー・ブレイク
-------------	----------

16:40~17:30	<p><b>パネルディスカッション</b> (国壘樓2階 MD227 国際会議ホール)          テーマ：日本語文学研究における「S字カーブ」への挑戦</p> <p>モデレータ： 頼 振南 (台湾日本語文学会理事長、輔仁大学外国語学部長)          パネリスト① 落合由治 (淡江大学教授)          パネリスト② 菊地康人 (日本東京大学教授)          パネリスト③ 沼野充義 (日本東京大学教授)          パネリスト④ 李 暲洙 (韓国日本語学会会長)          パネリスト⑤ 伊月知子 (日本比較文化学会・中国四国支部長補佐)          パネリスト⑥ 曾 秋桂 (淡江大学教授)</p>
17:30~17:40	<p><b>閉会式</b> (国壘樓2階 MD227 国際会議ホール)          黃 翠娥 (輔仁大学外国語学部副学部長)</p>
17:40~20:00	<p><b>懇親会</b> (国壘樓2階広場)</p>
<p><b>ポスター発表 一回目 11:30~12:30 二回目 15:25~15:35</b> (国壘樓2階広場)</p>	
<p><b>発表者①</b>：李 冠儀 (輔仁大学日本語文学系研究所修士課程)          テーマ：台湾人の立場から見る靖国神社-台湾団結連盟靖国神社参拝事件を中心に-</p> <p><b>発表者②</b>：楊 如錡 (輔仁大学日本語文学系研究所修士課程)          テーマ：日本語における感情表現の研究-「喜」を表す感情表現を中心に-</p> <p><b>発表者③</b>：卓 宜葦 (輔仁大学日本語文学系研究所修士課程)          テーマ：日本語における自他動詞の研究-自他動詞の誤用例を中心に-</p> <p><b>発表者④</b>：李 詩涵 (淡江大学日本語文学系研究所修士課程)          テーマ：『星の王子さま』における「Je」「僕」「我」翻訳についての考察</p> <p><b>発表者⑤</b>：盧 冠宇 (淡江大学日本語文学系研究所修士課程)          テーマ：機械翻訳におけるアライン機能の効果 - 光華雑誌を例として</p> <p><b>発表者⑥</b>：橋尾晋平 (同志社大学大学院文化情報学研究博士前期課程)          テーマ：日本語教育におけるディベート授業の可能性-非母国語ディベートの活動からのフィードバック-</p> <p><b>発表者⑦</b>：廖 宜萱 (輔仁大学日本語文学系研究所修士課程)          テーマ：村上春樹「蜂蜜パイ」試論-1990年代「喪失の時代」から2000年代「再生の時代」への一考察 -</p> <p><b>発表者⑧</b>：吳 侑蕓 (輔仁大学日本語文学系研究所修士課程)          テーマ：初級日本語教科書に関する考察-文化語彙を中心に-</p> <p><b>発表者⑨</b>：劉 宜蕓 (輔仁大学日本語文学系研究所修士課程)          テーマ：『砂の女』試論 -裏と外の世界における男の自己完成 -</p> <p><b>発表者⑩</b>：余 恆 (輔仁大学日本語文学系研究所修士課程)          テーマ：日本語教育における、学校文法を生かす可能性について</p>	
<p>主催 台湾日本語文学会・輔仁大学外国語学部・輔仁大学日本語文学科          協賛 科技部・輔仁大学研究發展処・日本国際交流基金          後援 公益財団法人日本交流協会</p>	
<p><b>【講演規定】</b></p> <p>1. 基調講演：60分          2. 論文発表：20分          質疑応答：各セクション・計10分</p>	